

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 092	提案機関名 公益財団法人相模湾水産振興事業団
<b>要望問題</b> 相模湾西部における磯焼け対策について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ○ 相模湾西部の岩礁地帯では、アワビ、サザエ等が刺網、素潜りで漁獲されている。 ○ 岩礁域のアワビ、サザエの水揚げは、沿岸漁業者にとって定置網、シラス船曳網と並び重要な収入源として期待され、当事業団でも種苗の放流を継続的に実施している。 ○ しかし、アワビ、サザエ等の餌となる岩礁に生育するカジメ等が、アイゴなどの食害により消失する現象（磯焼け）が駿河湾や三浦半島で発生し、相模湾西部においても、一部同様な現象が見られ始めている。 ○ そこで、アイゴ等による食害による磯焼けを防止するための調査研究を要望します	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター   ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター   ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	水産技術センター	<b>担当部所</b>	相模湾試験場
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中   ③継続検討   ④実施済   ⑤調査指導対応   ⑥現地対応   ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合)	漁場環境保全調査、酒匂川関連調査事業		
<b>対応の内容等</b>	現在、相模湾内の藻場や底質の調査については、「漁場環境保全調査」等の中で実施しております。このたびの要望についても、前記事業の中で対応するとともに、アイゴ等の食害による磯焼けに対しては本所と連携して可能な限り対応いたします。 なお、昨年度から「漁場環境保全調査」において、相模湾の藻場マップの作成に着手しております。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内		
<b>備考</b>			